



概念図

次のステップ: 未来につなげます

LINK UNION STATION (LINK US) - よく聞かれる質問

1 Link US プロジェクトとは何ですか？

当プロジェクトには以下の内容が含まれます：

1. 新しい鉄道通信、信号、路線
2. US-101 上方に新しいランスルーの線路を 設け、南カリフォルニア内の主要目的地 へのワンシートライドを提供します。
3. ショップ、食事サービス、乗客の待合エリア、その他のトランジット関連のアメニティのある新しい乗客用コンコースや、新しく拡張されたプラットフォーム、エスカレーター、エレベーター
4. 新しいリードトラックや最適化されたスロートとレールヤードでカリフォルニア高速鉄道 (HSR) に対応

6月にメトロ取締役委員会は、レールヤード下方に新しく改良拡張された通路を設け、新しいループトラックをつけないランスルー線路の設定を含む最終のEIR承認を検討します。

2 なぜLink USは地域に必要であり、どんな価値がありますか？

平日、およそ11万人の乗客がLAUSを利用しています。人口および雇用が増えることが予測されるため、2040年までには、予定されているHSRシステムからの利用客を含まずとも、20万人以上が毎週LAUSを利用することになると思われます。Link USによって、LAUSは地域の鉄道能力を高め、トランジットの接続を向上させ、南カリフォルニア中の地域／都市間をワンシートライドできるようにし、将来のニーズにより良く対応できます。Link USはまた移動時間を短縮したり、LAUSでのアクセスや循環を向上させることで、乗客の利用経験をより満足できるものに高めます。

3 誰がプロジェクトに取り組んでいますか？

Link USチームは様々な機関で構成され、プロジェクトの成功に向けて協力しています。メトロがプロジェクトを先導していますが、連邦、州、地方自治機関もプロジェクト全体を通してアドバイスやフィードバックを提供する責任があります。これらの機関には、連邦鉄道管理局 (FRA)、カリフォルニア州交通局 (CalSTA)、カリフォルニア高速鉄道局 (CHSRA)、南カリフォルニア地域鉄道局 (SCRRA)、別名メトロリンク)、アムトラック、ロサンゼルスーサンディエゴーサンルイスオビスポ (LOSSAN) 鉄道コリドーエージェンシー、カリフォルニア交通局およびロサンゼルス市が含まれます。

4 LAUSでの現在の線路配置はどうなっていますか？

LAUSは「スタブエンド」あるいは行き止まりのある駅で、全通勤者と都市間の列車が駅北側の線路のスロートを通って出入りします。これらスタブエンドの線路では、列車がスロートを通してプッシュイン、プルアウトしなければならないので、駅での乗客の移動時間が長くなり、運営能力への制限ができてしまいます。

5 資金源は何ですか？

メトロが企画、環境や事前エンジニアリングのために調達するメジャー Rの資金に加えて、メトロは州や地域のパートナーからの資金調達として、現在までに \$950M (9億5千万ドル) を受け取りました。主な資金源に含まれるのは：

1. 州の住民投票事項1A/高速鉄道債券における **\$423M** – カリフォルニア高速鉄道局の2018年度事業計画にLink USのためとして含まれています。
2. 交通機関と都市間鉄道資本プログラム (TIRCP) 助成金の **\$398M** – メトロリンクSCOREプログラムから、Link USプロジェクトのためと認定されています。
3. ローカルや地域のその他の資金源から **\$129M** が調達されています。

メトロは現在までに入手している資金と共に、Link US プロジェクトの第一段階であるフェーズAをデリバリーする予定です。フェーズAは地域と都市間の鉄道(メトロリンクとアムトラック)が、LAUSにおける暫時の2本線路、ランスルーの配置による早い段階での利点を確認できます。Link USチームはフェーズB向上のための建設資金を追加調達に努めています。

6 プロジェクトの工事はロサンゼルススのダウンタウンにどのような影響がありますか？

工事の大半はLAUS敷地内あるいはメトロ管轄の場所で行われます。さらに、橋や線路や道路の改良工事は、US-101高速道路、Center StreetとCommercial Stに隣接した場所でも行われます。最後に、安全性向上のためにNorth Main Stの踏切でも工事が行われます。メトロが地域社会、市議会の地区1と14、ロサンゼルス市職員、鉄道や交通局のオペレーターと緊密に協力し合って工事の影響を最小限に抑えるよう努力します。環境に関する緩和対策については、最終のEIR(環境への影響報告書)をご参照ください。

7 プロジェクトの沿革、またどのように変遷してきたのですか？

Link USプロジェクトは、以前はランスルー線路プロジェクト(2006年)とSCRIP(2014年)と呼ばれていました。2015年10月、メトロ取締役委員会は新しい乗客用コンコースと計画されているHSRシステム対応を含むSCRIPの拡張を承認しました。2017年3月、メトロ取締役委員会は環境に関する文書のなかでビルド代替案をさらに調査することを承認し、平面オプションに加えて、新たな低予算の地上の乗客用コンコースのオプションを開発するようにスタッフに要請しました。2018年11月、メトロ取締役委員会は、2019年1月にEIRドラフトを一般公開する前に、EIRドラフトの中で提案されているプロジェクトを指定することを承認しました。

8 EIRドラフトで何が調査されましたか？

以下はEIRドラフトのもとで調査された三つの案です。

1. 提案されているプロジェクト
 - a. US-101上方に、ループトラックを含む10本までのランスルー線路
 - b. 1本の新しい追加リードトラックを「スロート」エリアに(合計6本のリードトラック)将来の高速鉄道の列車が、地域/都市間の列車と共有する本のリードトラック上を走る。
 - c. 新しく拡張した通路を含むAbove-grade(地上の)乗客コンコース
2. ビルド代替案
 - a. US-101上方に、ループトラックを含む10本までのランスルー線路
 - b. 2本の新しい追加リードトラックを「スロート」エリアに(合計7本のリードトラック)将来の高速鉄道が2本の別々の(専属の)リードトラックを走るようになる
 - c. At-grade(平面の)乗客用コンコース
3. プロジェクト無し/ノンビルド代替案LAUSと既存のスタブエンド線路を現状のまま残す。

EIRドラフトの詳細はウェブサイトをご覧ください: metro.net/linkus

*6月、メトロ取締役委員会は新しいループトラックを含まない最終EIRの承認を検討します。

9 EIRドラフトが発表された後、どのようにプロジェクトは変わりましたか？

EIRドラフトには45日間一般からのコメントを募る期間があり、様々な当局や組織、一般市民から600件以上のコメントを受け取りました。最も懸念されていることは、above-grade(地上)の乗客用コンコースについて、工事が大気や鉄道のオペレーションや交通に影響しないかどうか、危険物質/土壌の汚染、公共のアートやアメニティへの影響、Vignes Streetが永久封鎖にならないかなどです。

地上の乗客用コンコース反対意見と、プロジェクトの資金を出しているパートナーや鉄道のオペレーターとの十分な検討に基づいて、最終のEIRには提案されたプロジェクトに対する以下の修正が含まれます:

- > 地上の乗客用コンコースを除去する
- > 川に沿って走るループトラックを除去する
- > LAUS敷地内の工事前連絡道路を除去する
- > 工事のための足場作り/組み立てエリアを除去する

2019年1月のメトロ取締役委員会の承認しだいで、すべてのコメントと提案された修正案について最終EIRで発表します。

10 どのようなコンコースの改良案が出ていますか？

一般からのコメントに応じて、最終のEIRには、トランジットアメニティを含むことで地上の乗客者通路の高くなった部分を除去できるようにトランジットアメニティを含むとEIRドラフトで検討された拡張通路への修正を含んでいます。EIRドラフトに書かれた拡張通路は、追加で待合エリア、トイレ、ショップエリア、その他の乗客用アメニティを含むために、最終のEIRでその幅を約120フィートから140フィートに修正されます。これは、2040年には20万人以上の乗客がLAUSを利用するであろうという予測に対応できる十分な歩行者収容能力を提供するためでもあります。新しく改良された拡張通路は、既存の通路と同等の乗り換えにかかる時間や移動の利便性があります。さらに、既存のスロープであるランプをエレベーターやエスカレーターに取り換えることで、プラットフォームへの歩行者用アクセスとADAアクセスができ、それによってメトロは現在の消防法や生命の安全確保のための条件を満たします。プロジェクトの更新内容や討論会に関する最新情報はLink USのウェブサイトでご確認ください:

metro.net/linkus.

どうやって詳細の情報が得られますか？

プロジェクトの詳細、ご質問やご意見は、以下の連絡ツールをお使いください。

 213.922.2524

 linkunionstation@metro.net

 metro.net/linkus

 facebook.com/regionalrail

 facebook.com/losangelesmetro